



みかんぐみだより

2020年6月1日
尚徳福祉会おぐら保育園
みかん組担任

園庭にもアリやダンゴムシが出てくるようになりました。アゲハチョウが飛んでくることもあり、子どもたちはいつも目を輝かせて観察したり触れてみたりしています。まだ同じ遊びを共有することは少ないものの、友だちの近くに座って似た遊びをしている姿や、並んで座って絵本を見ている姿など、少しずつ友だちと一緒にいる心地よさを感じている様です。

「せんせい、やって」「くっく(靴)、あった」と段々と会話も増え、日々話せることが増えていく姿に驚かされるばかりです。絵本の読み聞かせや手遊び、歌などを通して沢山の言葉に触れ合う機会を作っています。遊びの中でも子どもたちのして欲しいことを保育者が「〇〇しよう」「△△してほしいの？」など言葉にしていって関わっていきこうと思います。

例年になく感染症対策もあり、子どもたちも大好きな保護者の方といつも以上にゆっくりとご自宅で過ごせたことで、保育園に来ると寂しくて泣いてしまうこともあるかもしれません。子どもたちのそういった気持ちをしっかりと受け止めながら、また少しずつ保育園やクラスに慣れていけるよう一人一人のペースで園生活を過ごしていきたいと思います。

大好きなお兄さんお姉さん

園庭ではあちこち歩き回って気になるものを見つけたり、指で触ったりしながら保育者や友だちと遊んでいることが多いですが、しばらく遊んでいると2階から幼児さんたちの「おーい！」という声。幼児さんたちが降りてくると嬉しそうに近づく子、自分も同じ遊びを真似してみようとする子「これ使いたいなの？」と玩具を貸してもらおう子など、自然な形で異年齢の関わりが生まれています。お兄さんお姉さんがやっている遊びは何でも面白そうに見えるもの。まだみかん組のみんなには難しい遊びもありますが子どもたちの「やってみたい」という表情の時には怪我に気を付けて納得いくまで遊び込めるように見守っています。



イス、どうぞ！

○ 砂場にある小さなイスは座ったり踏み台にしたりと子どもたちに人気のおもちゃ。先日保育者とそのイスに座って地面に絵を描いていると、集まってきた子たちもイスを出して座り始めました。

あとから来た友だちには「どうぞ」と空いているイスを渡す姿もあり、みんなで丸くイスを並べて地面にお絵かきをしました。



雨が降っても・・・

天気がいい日は園庭で遊びますが雨の降った日は室内で運動遊びをして身体を動かして遊んでいます。新聞紙を自分たちでちぎったものを保育者と丸めてボールにしたり、小さな台を並べて橋にして上をそーっと歩いたり、保育者のピアノに合わせて踊ったりと室内でもいつも元気いっぱい！身体も発達してきて両足ジャンプや後ろ歩きも少しずつ出来るようになってきました。雨の日でも子どもたちの発達に合わせた身体を動かす遊びを沢山していきたいと思っています。



じぶんでやる！

○ ＊ 衣服や靴下の着脱、靴を自分で靴箱から出す、自分で手を洗う等、生活の様々な場面で自分の力でやってみようとする姿が見られるようになってきました。
○ ＊ 上手くできなくても大切な自立の第一歩なので、自分でやってみたい！という気持ちを受けとめながら「できたね！」「やってみる？」といった仲立ちや共感を大切にしていきたいと思っています。

